

(5) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

令和2年は年間報告数6,970例、年間定点当たり報告数101.01、年間定点当たり報告数の過去5年平均値(平成27年から令和元年まで。以下同じ。)との比0.41、前年比0.34であった。

月別定点当たり報告数では、1月(61.71)、2月(29.65)が多く、3月～12月の報告数は少なかった。

年齢階級別では、5～9歳(33.0%)が最も多く、次いで0～4歳(19.0%)、10～14歳(16.8%)の順となり、14歳以下が全体の68.8%を占めた。

